

第67回 日経広告賞の主な受賞作品を紹介します。

ブランド・ファッション部門 最優秀賞

資生堂



146回目の創立記念日を迎え、資生堂は世界中の多様な美に共感し、新たな美の価値を創り出すことで世界と人々の幸せに貢献する、という考えをあらためて表明した。その意志を「LOVE THE DIFFERENCES」と表現。「SNS上でも共感を呼び、多くの投稿がシェアされた」（鐘ヶ江氏）。年齢、性別、国籍など多様な人物のイラストを配し、それらのピースを合わせると一つのハートになる仕掛けも話題を呼んだ。



資生堂 クリエイティブ本部
コーポレート&クリエイティブ戦略ユニット
エグゼクティブクリエイティブディレクター
鐘ヶ江 哲郎氏

2018年4月8日付 日経朝刊 全15段・カラー

食品・医薬品・生活用品部門 最優秀賞

キッコーマン



食の体験を通して「おいしい記憶」を積み重ね、ここからだもすこやかに、ゆたかな人生をおくれるようお手伝いをしたい。というキッコーマンの思いを伝えた。24種の野菜やくだものをクレヨンに見立てたデザインが注目され、共感をよんだ。読者の反響から野菜の名前などをめぐり家族の会話「がはずんだ様子がうかがえる。今後『おいしい記憶』をつくるお手伝いができるよう、日々の生活に役立つ商品、情報を提供していく」（中島氏）



キッコーマン
経営企画室
コーポレートブランド
担当マネジャー
中島 みどり氏

2018年2月26日付 日経朝刊 全15段・カラー